

## 会 議 録

|                    |     |                                                               |    |      |      |    |
|--------------------|-----|---------------------------------------------------------------|----|------|------|----|
| 会議名<br>(審議会等名)     |     | 平成30年度相模原市子ども・子育て会議<br>第4回相模原市幼児教育・保育ガイドライン策定部会               |    |      |      |    |
| こと務局<br>(担当課)      |     | こども・若者政策課 電話042-769-8316(直通)                                  |    |      |      |    |
| 開催日時               |     | 平成30年12月3日(月) 午後5時45分～7時50分                                   |    |      |      |    |
| 開催場所               |     | けやき会館 職員研修所大研修室                                               |    |      |      |    |
| 出席者                | 委員  | 4人(別紙のとおり)                                                    |    |      |      |    |
|                    | その他 | 7人(別紙のとおり)                                                    |    |      |      |    |
|                    | 事務局 | 10人<br>(こども・若者政策課職員6人、保育課職員4人)                                |    |      |      |    |
| 公開の可否              |     | 可                                                             | 不可 | 一部不可 | 傍聴者数 | 0人 |
| 公開不可・一部不可の場合は、その理由 |     |                                                               |    |      |      |    |
| 会議次第               |     | 1 開会<br>2 議題<br>(1) 相模原市幼児教育・保育ガイドラインの策定について<br>3 その他<br>4 閉会 |    |      |      |    |

## 審 議 経 過

主な内容は次のとおり。( は委員・関係者の発言、 は事務局の発言)

## 1 開 会

## 2 議 題

## ( 1 ) 相模原市幼児教育・保育ガイドラインの策定について

**資料3 相模原市が目指す幼児教育・保育について**

- 保育者、保護者、地域、行政の四者が子どもの育ちを保障するというようなガイドラインととらえてきたが、「私たちは、こうした子どもの育ちを保障するとともに」となると少し違和感がある。
- 「私たちは」から始まっている文章が、主語が入れ替わったようになり、混乱するよう感じられる。  
前半の部分は、私たちはこのように寄り添うということを考えており、後半の部分は保育の実現を目指したいということも考えているという表現となっている。
- 豊かな育ちの場を保障することが、結果として子どもが夢を持って実現することにつながるという文章にするということだと思う。
- これまでの意見を要約すると、「子どもの育ちを保障するために、私たちは子育てに関わる四つの主体である保育者、保護者、地域、行政が子どもに寄り添い、子どもが自分の夢を持ち、その夢をふくらませていけるような幼児教育・保育を目指していきたいと考えています」となる。
- 「自分の夢に向かって挑戦する子ども」が理念であれば、繰り返すとまとまりづらくなるので、「理念の実現を目指し」という表現が良いと思う。
- 何を根拠に策定しているのかという記述がないといけないと思う。根拠が無くガイドラインを策定している訳ではない。保育所保育指針、幼稚園教育要領、子どもの権利条例や子ども・子育て支援事業計画などに基づいているという記述が必要ではないか。
- 保育所保育指針、幼稚園教育要領や子ども・子育て支援事業計画のことを知らない人もいるので、これらに基づいて幼児教育・保育や子育て支援が行われていることを知ってもらう機会になると思う。  
「子ども・子育て支援事業計画に基づき」という表現を上段に入れるか、「意見を出し合いながら子ども・子育て支援事業計画の理念に基づいて策定をしました」という表現も考えられる。
- 「活用して頂きたいと願っています」の部分の主語の「私たち」は子ども・

子育て会議のことである。子ども・子育て会議が市民とガイドラインを通してこの方向性を分かち合いたいと言っている。

- 「私たちは」が冒頭から一回しか出てこないが、文章全体の主語が「私たちは」として読めなくもない。「そこで」の所で「私たちは」ともう一度入れると明確な主語になり、「願っています」につながると思う。
- それぞれの市民が相模原市の子育ての目指す方向を分かち合うために「活用して頂きたい」にすればよいのではないか。

### 資料3【子どもを取り巻く、四者（保育者、保護者、地域、行政）の役割】について

- 文章で書き表すより、箇条書きで書いた方がわかりやすいのではないかと考えた。また、「自らの夢をふくらませ、夢に向かって挑戦する子ども」を中央に配置して、子どもが中心であることを強調し、図に矢印を記載した。  
ここの記載は短い文章とするか、多くても皆様からご提案いただいたくらいの文字数になると思われる。
- 文字数を少なくしたほうが「子どもを取り巻く、四者（保育者、保護者、地域、行政）の役割」の概念図として見やすいのではないか。
- 四者とは何を指しているかの確認をした方がよいと思う。また、それぞれの役割として何が大切かということが分かるコンセプトがあるとよいと思う。  
地域としてあって欲しい姿や、地域としての役割というものが出てくると、分かりやすく書けると思う。文章形式では分かりづらくなるので、キーワードのような箇条書きで、四者がどのような人達であって欲しいということが、この中に明確に書かれるとよいと思う。  
保護者の部分で言うと、「保護者は孤立して子育てを해서는はいけません」や「人と繋がりながら子どもを育てるようにしましょう」など、あって欲しい姿を表現する文章を箇条書きにすることである。

### 次回の確認等について

- 地域の部分について、子ども・子育て会議の民生委員児童委員協議会、ひとり親家庭福祉協議会の方にご意見を伺った方がよいと思う。  
幼児教育・保育ガイドライン策定部会の委員以外の、子ども・子育て会議の委員に、地域の部分についてご意見の照会をする方向で進める。
- 次回、本日の続きの議論を行い、その後「ガイドライン編」の議論へ入る。  
また、「保育者（園）の具体的な取組」は、以前に皆様からいただいたご意見

を基に修正を行い、資料編として最後に記載することとする。

3 その他

( 1 ) 今後のガイドライン策定部会の日程について

4 閉 会

相模原市幼児教育・保育ガイドライン策定部会委員名簿（五十音順）

| 名 前    | 所 属                     | 出 欠 |
|--------|-------------------------|-----|
| 朝比奈 太郎 | 相模原市私立保育園・認定こども園園長会     | 出席  |
| 荒井 美由紀 | 相模原市立小中学校長会             | 出席  |
| 岡 健    | 大妻女子大学家政学部児童学科教授        | 出席  |
| 永保 貴章  | 一般社団法人 相模原市幼稚園・認定こども園協会 | 出席  |

部会長

相模原市幼児教育・保育ガイドライン策定部会関係者名簿（五十音順）

| 名 前    | 所 属                     | 出 欠 |
|--------|-------------------------|-----|
| 安藤 抄苗  | 保護者（元公募市民）              | 出席  |
| 岩本 勉   | 一般社団法人 相模原市幼稚園・認定こども園協会 | 欠席  |
| 遠藤 美智子 | 相模原市大沼保育園園長             | 出席  |
| 大野 計子  | 相模原市ふじの幼稚園園長            | 出席  |
| 神尾 美香子 | 相模原市私立保育園・認定こども園園長会     | 出席  |
| 齋藤 正典  | 一般社団法人 相模原市幼稚園・認定こども園協会 | 出席  |
| 佐藤 由起  | 相模原市教育局学校教育課            | 出席  |
| 園田 巖   | 東京都市大学人間科学部准教授          | 出席  |